

フィッチによるポルトガルの格下げについて

大和証券投資信託委託株式会社

格付け会社のフィッチ・レーティングス社(以下、フィッチ)は、3月24日(現地時間)、ポルトガルの発行体デフォルト格付けを、外貨建て、自国通貨建てともに、「AA」から「AA-」に引き下げました。見通しは、「ネガティブ」としています。

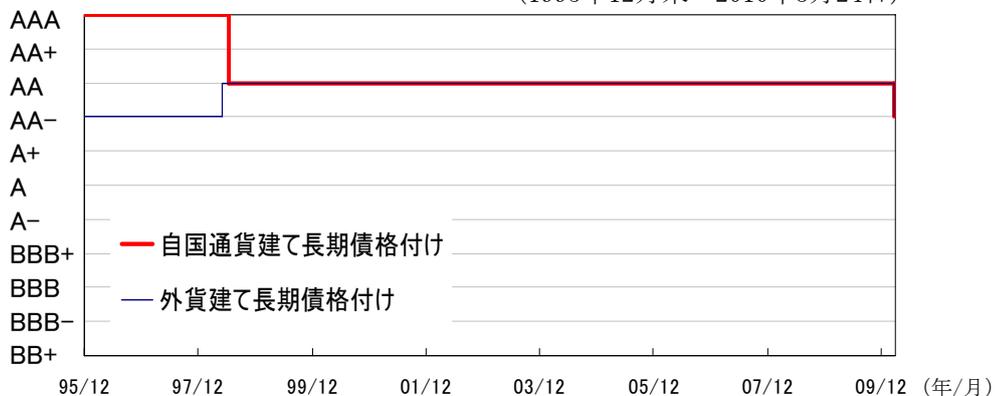
今回の格下げの理由として、フィッチは「マクロ経済の相対的な弱さを背景に、ポルトガルの構造的な脆弱さが信用力を低下させている」としました。「ポルトガル経済のみが打撃を受けているわけではないが、他のEU諸国との比較においても景気回復の見通しは劣後しており、中期的な公的債務の調達活動に悪影響をもたらす見通し」ともコメントしています。格下げの背景には、同国の2009年財政赤字が対GDP比で9.3%もの水準まで達しており、公的債務が対GDP比で90%程度まで到達するとの懸念が高まっていることが挙げられます。フィッチは今年または2011年の経済成長や財政再建状況が期待に届かない場合は一段の格下げにつながる可能性があるとの見方をとり、見通しは「ネガティブ」に据え置きました。

こうした財政問題に対して、ポルトガル政府は公務員賃金抑制の歳出削減と国営企業の民営化などを盛り込んだ財政再建案を3月8日に発表し、問題解決への取り組みを開始しております。この財政再建策については、フィッチは信頼性のある計画と評価したうえで、財政再建の必要性についてもポルトガル国内では政治的に支持されており、財政削減の実行を阻害するような政治リスクは想定していないとコメントしています。

市場では格下げ自体は織り込み済みであり、ニュースに対する反応は限定的でした。ユーロ通貨やポルトガル株式市場は下落する場面もありましたが、債券市場は小動きとなりました。ユーロ建ポルトガル国債利回りは、ドイツ国債利回りを5年債で1.15%、10年債で1.20%上回る水準で取引されています(3月24日現在)。

【フィッチ 格付けの推移】

(1995年12月末～2010年3月24日)



(出所)ブルームバーグデータより大和投資信託作成

以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会